

令和7年度 第3回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和8年3月24日（火） 午後4時00分～午後5時20分
2. 場 所 やまなみ荘
3. 出席者 委 員：平田勝章、山本吉人、島幸恵、安坂清人、藤原久紀、高野儀一
村 長：藤澤泰彦
副村長：牛越宏通
事務局：所長 坂爪浩之、副所長 甲本太郎、支配人 小坂部元、料理長 牛越実

4. 協議事項

(1) 令和7年度の運営状況について

※事業実施状況、収支状況、利用者数等について資料により説明

問：休館期間中に行われたそば打ち研修の状況は

答：料理人3名と職員3名で2ヶ月のうち8回実施した。やや課題は残るものの、今後反復練習を重ね技術向上を図っていく方針です。

問：ハンガリーイベントの収益は

答：収支差引で約49万円の収益がありました。

問：池田町の事例を参考にピアノイベントを開催してはどうか

答：グランドピアノ寄付予定を踏まえ、今後活用を検討していきたい。

(2) 令和8年度の運営について

※集客プランの企画・年末年始・広告方法・サービス改善・健全運営の推進・安全衛生管理、令和8年度当初予算について資料により説明

問：令和8年度は繰入金で1,000万円を下回る見込みとなる中、予算の妥当性は

答：令和7年度実績と全館休館とした改修工事中は令和6年度の同時期の実績を踏まえ、低迷月の利用を約10%増加で目標を立て編成した。

問：新会計システムの使用感はどうか

答：職員が業務に慣れた後、ゴールデンウィーク明けに研修を行い本格導入する。

問：ふるさと納税の返礼品であるパラグライダー体験の状況は

答：今のところ利用はないが、希望に応じて柔軟に日程調整を行っている。

(2) その他

※今後の具体的な経営改善について説明

- ・ 予約管理の徹底と受入上限設定による職員の負担軽減
- ・ 人員に応じた柔軟な営業体制
- ・ 飲み放題の原価、利用分析による収益改善
- ・ 売店機能の強化による来館動機の創出
- ・ 売店を起点とした食事・入浴利用の促進
- ・ 粗利率・粗利高を指標とした経営管理
- ・ 月次目標の設定と進捗管理の徹底
- ・ 季節変動の平準化による収益安定化
- ・ 周辺施設の動向分析と迅速な対応